

毎月勤労統計調査特別調査の説明

この調査は、常用労働者1～4人規模の事業所における賃金、労働時間、雇用等の実情を明らかにして、毎月実施されている常用労働者5人以上の事業所を対象とする「毎月勤労統計調査全国・地方調査」を補完することを目的として年1回（7月31日現在）実施しているもので、平成22年については、県内約350事業所について調査を行った。

概 況

1 賃 金

平成 22 年 7 月における調査産業計の一人平均月間きまって支給する現金給与額は前年比 2.7%減の 205,913 円であった。男女別にみると男 260,857 円、女 153,181 円であった。

また、平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日までの 1 年間に、賞与など特別に支払われた現金給与額は、前年比 9.3%減の 170,507 円であった。

2 労働時間

平成 22 年 7 月における調査産業計の 1 人平均 1 日の実労働時間数は 7.3 時間で、前年と同数であった。男女別にみると男 7.9 時間、女 6.7 時間で女の方が 1.2 時間短かった。

3 出勤日数

平成 22 年 7 月における調査産業計の 1 人平均月間出勤日数は 20.6 日で、前年に比べ 0.1 日の減少となった。これを男女別にみると男 21.6 日、女 19.5 日で女の方が 2.1 日少なかった。

4 雇 用

平成 22 年 7 月現在における常用労働者は 54,991 人で、このうち男 26,930 人、女 28,061 人であった。

産業別構成でみると、卸売業、小売業が 20,348 人で全体の 37.0%を占めており、次いで建設業が 7,231 人(13.1%)であった。この 2 産業で全体の 50.2%を占めている。